（おもて）

自己点検・評価シート

整理No.	

平成24年度 第9次鳥取市総合計画

事務事業名	鳥取マラソン開催事業	所属名	教育委員会事務局　体育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名　称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ　心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす
	施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興

2. 事業目的【PLAN】

対　象 （何を、誰を）	市民全般（市外、県外含む）
意　図 （どのような状態にするために）	多くの市民に身体を動かす機会と記録へ挑戦する機会を提供するとともに、マラソンを核に全国へ鳥取市をアピールする。
手　段 （どうするのか）	実行委員会を構成するマスメディアを最大限に活用した情報提供と大会の告知を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
内容	年度別計画	大会の実施	大会の実施	大会の実施	大会の実施	大会の実施
	年度別実績	大会実施 参加者２，３７７人	大会実施 参加者２，６２２人	大会実施 参加者２，８８２人		

	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A＋B)		3,731	3,750	3,743	3,000	
	直接経費　A		3,000	3,000	3,000	3,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	
	人件費　B		731	750	743		
職員数の内訳	正規職員		0.10	0.10	0.10		
	嘱託職員		0.00	0.00	0.00		
	臨時職員		0.00	0.00	0.00		

4. 平成24年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1　事業の概要 平成１８年度まで開催されていた湖山池ハーフマラソンを廃止し、マラソンコースのリニューアルや制限時間の大幅延長により、全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるマラソン大会にグレードアップした。 主催　鳥取マラソン実行委員会 （鳥取市、日本海新聞社、鳥取陸上競技協会の三者で構成） 内容　フルマラソン（湖山池周遊コース、制限時間６時間） 2　事業の成果 マラソンを核に「鳥取市」を全国にＰＲする。 実行委員会事務局を日本海新聞社に置き、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態としている。

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	1	鳥取マラソン参加者数	人	目標	2,000	2,000	2,100	3,000	3,000
				実績	2,377	2,622	2,882		
		（指標の説明）							
	2			目標					
				実績					
		（指標の説明）							

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

		指標名	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
指標達成率	1	鳥取マラソン参加者数	人	119%	131%	137%		
	2							

7. 評価 【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	■ 1. 妥当である □ 2. ほぼ妥当である □ 3. あまり妥当ではない □ 4. 妥当ではない	全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるマラソン大会であり、鳥取市の地域振興およびスポーツ振興に寄与できる大会である。
事業の有効性	■ 1. 有効である □ 2. やや有効である □ 3. あまり有効でない □ 4. 有効でない	参加者は増加傾向にある。
資源投入の効率性	■ 1. 効率的である □ 2. やや効率的である □ 3. あまり効率的ではない □ 4. 効率的ではない	実行委員会を新日本海新聞社に設置し、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態となっている
サービスの公平性	■ 1. 公平である □ 2. やや公平である □ 3. あまり公平ではない □ 4. 公平ではない	鳥取市民のみならず、県外からの参加も対象としている。公平性は評価できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】

今後の方向性	■ 1. 拡充	■ (1) 意図的に拡充　□ (2) 制度的に自然増加
	□ 2. 改善継続	□ (1) 手段等の改善　□ (2) 効率化・簡素化　□ (3) 他事業との統合
	□ 3. 現状維持	
	□ 4. 縮小	□ (1) 意図的に縮小　□ (2) 制度的に自然減少
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ (1) 臨年実施等、意図的に休止 □ (2) 意図的に廃止 □ (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	年々参加者が増加傾向にあり、鳥取市が全国にアピールできる大会へと成長しつつある。今後も運営体制を充実させ、コースの変更も視野に入れながら、参加者の増加につながるよう継続する。	
今後の課題・方向性	今後も継続して大会を開催する。 コースの変更も視野に入れながら、運営体制を充実させていく。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	マラソン人口が増えている現在、各地でのマラソン大会が盛況である。その中で鳥取マラソンを開催し、全国各地からマラソンランナーが鳥取市に集まる。参加者また応援者の飲食、宿泊、買い物など、地元に大きな経済効果が見込まれる。鳥取市の宣伝や地域活性化のためにも積極的に展開すべき事業と考える。

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	参加者が増加し続ける中で、25年度からスポーツツーリズムの要素を大きく取り入れたものに転換する。次年度以降は、新たな事業の特性に合致したものとなるよう、評価の面においても必要な見直しが行われることが望ましい。